

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	経済協力開発機構拠出金事業		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成3年度		担当課室	国際課		藤井 康弘		
会計区分	一般会計		施策名	施策目標 VI-3-1 国際機関の活動へ参加・協力し、国際社会に貢献する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	OECD予算規則第20条第1項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済協力開発機構(OECD)は、少子高齢化など加盟国に共通する課題に対処するため、加盟国間の自由な討議、各国の政策分析、データベースの構築等を通じて、社会経済に関する研究・分析・政策提言を行っていることから、わが国の政策課題に資する取組みを選択して拠出金を支出することにより、事業の実施を促進し、わが国単独では得ることが困難なデータや研究成果を入手することで、わが国の政策立案に役立つとともに、加盟国の相互発展に広く寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	経済協力開発機構(OECD)による社会保障分野、雇用労働分野の事業における取組みとして、1)社会保障分野、雇用労働分野における統計データの収集・編纂・公表、2)社会保障制度の効率性、財政の持続可能性、社会経済への影響に関する分析、3)ヒトの遺伝子情報の利用など医療分野における技術革新に関する分析、4)労働市場政策における課題に対処するための政策に関する分析等が実施されている。事業の成果は、データベースや報告書として公表され、各国における政策立案や研究分析に活用されている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位: 百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	40	37	33	28	58	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	40	37	33	28	58	
		執行額	40	37	33			
	執行率 (%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	OECD事業実施報告における厚生労働省が拠出した事業の質に対する各国評価平均		成果実績	ポイント	3.74	3.74	平成25年実施予定	3
			達成度	%	125	125	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	OECD事業への拠出執行率		活動実績 (当初見込み)	%	100	100	100	-
					-	('100)	('100)	'100
単位当たりコスト	-		算出根拠	(国際機関における調査研究等が主な事業内容であることから、「単位あたりコスト」という考え方にはなじまない。)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	拠出金	28	58					
	計	28	58					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際機関を通じた国際貢献であり、国民のニーズに沿う優先度が高い事業であると考えられる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国際機関への資金拠出は、主に国が実施すべき事業であると考えられる。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	相手方と協議の上、真に必要な経費に限定している。
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国際的な専門機関への支出であり、他の手段と比較して実効性が高いと考えられる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	成果目標を立てており、その目標を達成している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みにあっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1) 社会保障分野、雇用労働分野における統計データの収集・編纂・公表、2) 社会保障制度の効率性、財政の持続可能性、社会経済への影響に関する分析、3) ヒトの遺伝子情報の利用など医療分野における技術革新に関する分析、4) 労働市場政策における課題に対処するための政策に関する分析等の各事業について、関係委員会等に出席し、積極的に意見を述べ、事業の検証・確認に努めた他、分野別に約5年に一度開催される大臣会合の機会には、事業の大きな方向性が決定されることから、より積極的な働きかけを行って、目標の達成を実現した。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、必要性や執行の観点からも概ね妥当であるが、今後も拠出先機関に働きかけ、有効な活用がなされるように努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0554	平成23年行政事業レビュー	0504

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
33百万円

【国際分担金等】

A. 経済協力開発機構(OECD)
33百万円

〔 各国の社会経済に関する研究・分析
政策提言 〕

〔 ※百万円未満については端
数処理を行っている 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 経済協力開発機構(OECD)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	経済協力開発機構の実施する 少子高齢化に関する研究事業 に対する拠出	28			
拠出金	経済協力開発機構の実施する 雇用アウトルック、レビュー及び 労働市場政策事業に対する拠出	5			
計		33	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構 (OECD)	世界経済の主要国の雇用労働・社会問題・保健医療分野の 様々な課題に関する多角的・総合的な研究・分析	33		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					